

平成26年6月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>萩野 幸弘 議員 (一問一答)</p>	<p>1 中心市街地活性化と本庁舎整備について 市役所本庁舎の整備事業が進んでいるが、事業内容の市民周知は徹底されているか。国の財政措置期限が来年度に迫り、急がなければならない事情は理解できるが、一部に拙速との声も聞かれ、今一度市民への十分な説明が必要と思うがどうか。また、周辺市街地への今後の波及効果を具体的にどのように捉えているのか。</p> <p>2 学校給食の現状について 過日、他の自治体で給食の量が少ないなどの問題報道があったが、本市における学校給食の量または品数に関して決まり事はあるのか。また、味や栄養バランス等も含めて、児童生徒や保護者の方々のご意見、ご要望や周辺自治体との比較等は把握しているか。さらには給食費の徴収率や徴収方法等に問題等はないか。</p>	<p>市 長</p> <p>教育長</p>
<p>小松 大成 議員 (一括質問)</p>	<p>1 医療・介護総合法案について 医療・介護総合法案が全野党が反対する中で強行採決された。現在参議院で審議中である。この法案は病気やけがなどいざ困ったときに、これまで通りに病院や介護の仕組みに頼れなくなるなどとして、医療・介護の現場はもとより幅広い国民から不安と批判の声が強まっている。市長の見解を伺う。</p> <p>2 日豪EPA大枠合意に対する市長の見解は 安倍首相は4月7日、オーストラリアのアボット首相との首脳会談で日豪経済連携協定(EPA)を“大筋合意”した。“大筋合意”は、現行38.5%の関税を冷凍牛肉で19.5%(協定発行から18年後)、冷蔵牛肉を23.5%(15年後)に引き下げるというものです。畜産業が重要な産業となっている岩手県としては重大な問題として国に抗議したようである。遠野市としても畜産業のみならず重大な問題である。市長の見解を伺う。</p> <p>3 教育委員会改革案に対する教育長の見解は 衆院本会議で、教育委員会制度改革法案を、可決した。教育委員会は、戦前の国家主義的な教育を反省し、教育の独立性を守るために作られたことから、本来、国や自治体の首長から独立したものであるべきです。法案は、教育委員会の独立性・自主性をなくし、国と自治体首長の支配下に置く大改悪といわざるを得ません。教育長の見解を伺います。</p> <p>4 規制改革会議農業ワーキンググループが取りまとめた「農業改革に対する意見」に対する農業委員会長の見解は 規制改革会議農業ワーキンググループが取りまとめた「農業改革に対する意見」農業委員会公選制の廃止、都道府県農業会議、全国農業会議所制度の廃止など唐突とも言える内容の意見書案である。この意見書の通りの改革などあり得ないし、許してはいけない意見書の内容である。農業委員会長の見解を伺います。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>農業委員会長</p>
<p>菊池 邦夫 議員 (一問一答)</p>	<p>1 生活習慣病予防の推進について (1) 各種がん検診の現状は。 (2) がんと診断された方への個別指導対応は。</p> <p>2 消防団活動の充実強化の施策について 消防団への加入促進、団活動への充実強化の施策の一つとして、団員の処遇改善が求められるが。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>照井 文雄 議員 (一括質問)</p>	<p>1 遠野市防災マップについて 全世帯に配布されたが、市民が良くわからない点があるとされているので、提案してみたい。</p> <p>2 増加が見られる廃屋の問題について 市内各地区で廃屋が目立ってきている状況で、条例の制定などは考えているのか、解体のときの補助は考えていないのか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

<p>菊池 民彌 議員 (一括質問)</p>	<p>1 グリム兄弟が育ったドイツ・シュタイナウ市との交流について (1) 交流しようとするシュタイナウ市の状況と市長の親書の内容について (2) 両市の交流が始まっているように思われるが両市のアクションについて (3) 将来を見据え、どんな交流を軸として接して参ろうとしているのかについて</p> <p>2 皇后様の詠われたお歌について (1) 「遠野」について詠われたお歌に対する市長の思いについて (2) お歌を本市の宝として記念碑の建立について</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>石橋 達八 議員 (一括質問)</p>	<p>1 人口減少時代について 遠野市も年々人口が減少している。市の人口減少に歯止めをかけ、如何に定着率を高めるか対策、方針を示してほしい。</p> <p>2 地域包括ケアシステム構築について 社会保障費の見直しや、介護の担い手不足も予想されるなか、高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられる新しいシステムの構築は、2025年問題等も含め喫緊の課題である。如何に取組まれるのか。</p> <p>3 鳥獣被害対策について 改正鳥獣保護法が成立した。このことで遠野市の鳥獣被害対策に新たな取組はあるのか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>瀧澤 征幸 議員 (一括質問)</p>	<p>1 遠野型 ICTの今後の取組について 遠野市は、全国に先駆けて市民の健康づくりや遠隔医療、そして安心・安全・見守り等 ICTを活用した地域づくりを進めてきたが、今後の取組について伺う。</p> <p>2 行政区の見直し作業の現状と今後について この4月、行政区長等役員改選が全市的に行われたが、行政区等の見直し作業や今後の日程等が見えてこない。現状での作業の進捗状況と今後の取組や課題、見通しについて伺う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
<p>荒川 栄悦 議員 (一問一答)</p>	<p>1 6次産業推進プロジェクトについて</p>	<p>市 長</p>
<p>瀧本 孝一 議員 (一問一答)</p>	<p>1 ふるさと納税制度の現状や推進拡大の取組について 平成20年4月に、個人住民税の寄付金税制が大幅に拡充される形で導入された、地方自治体に対する寄付金である「ふるさと納税」の経過内容や現状とその効果はどのようなものか。また、「で・くらす遠野」との関係や相乗効果及び問題点などはないか。 「日本のふるさと遠野応援寄付金」として自主財源確保につながる当制度の推進拡大を、今後市内外に向けてどのように発信し、更なる取組を図っていくのか。</p> <p>2 他県の担任教師の入学式欠席問題について 本年4月、埼玉県立高校の女性教諭が長男の入学式に出席するため、自分が担任する新一年生の入学式を欠席したことにより、教師としての「職責」を問う声と、「事情」を理解する声の賛否が分かれ、教師の「公」と「個」の在り方が問われ、全国的に物議を呼んだ。 市内の各学校においても考えられる事例であるが、教師の「公」と「個」の職務・職責、教師と我が子の関係等を含め、現場を預かる教育委員会として、この問題をどのように捉え、どのように対応していくのか。</p>	<p>市 長</p> <p>教育長</p>